

令和3年度 八洲学園大学国際高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校(会場)所在地	電話番号	FAX番号
八洲学園大学国際高等学校	法人所有	905-0207	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	0980-51-7711	0980-48-4115

2. 学生(生徒)の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧(令和3年3月1日現在)

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) $(②+③) \div ① \times 100$
通信制課程 (広域)	普通科	—	5000	1349	0	4	27.0

(2) 令和3年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	500	350	10	7	100	33
聴講生	2					

3. 教職員関係

(1) 令和3年度管理職の概要

職名	氏名	備考
校長	中村 成希	継続
教頭	鈴木 啓之	継続
事務長	平良 亮	継続

(2) 令和3年度教職員の概要 (令和3年3月1日現在)

		合計 (人)	沖縄	横浜
教員	本務	14	13	1
	非常勤	10	10	0
職員	本務	2	2	0
	兼務	8	6	2

八洲学園大学国際高等学校の平均年齢は教員42.9才、職員44.8才である。(令和3年3月1日現在)

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
令和3	トップアスリート育成コース	「株式会社 Wiz ユナイテッド」と提携し、4分野（サッカー、格闘技、陸上、バスケット）でのトップアスリートの育成を目指す。	格闘技分野で高校生プロが転入学予定。
平成22～	高大連携の具体化	高校と大学の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、大学のある学園の高校として入学見当者からの魅力向上をはかる。	令和2年度は、生徒3名を八洲学園大学へ内部進学させた。また、有償の八洲学園大学「高大連携公開講座（6本）」が公開され、生徒が受講して特別活動認定を受けた。 令和3年度においても学校情報誌への八洲学園大学記事の掲載を定期的に掲載し、大学公開講座受講および大学内部進学拡大を図る。
令和元～	高専連携の推進	八洲学園大学国際高等学校と ESA 音楽学院専門学校との連携により、相互の学校の魅力を高め、内部進学へ導く。	令和3年度も引き続き、定期演奏会に対応して演奏鑑賞を特別活動認定指定の周知活動を行う。

平成22～	地域貢献・地域交流	<p>地域海岸の清掃ボランティア活動、地域の恒例行事となった少年サッカー・バスケット大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。地元教育委員会及び商工会の賛同・協賛も頂き、例年500名ほどが集まっている。</p> <p>「一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部」に加盟し、地域のひきこもり支援者普及とスキルアップに貢献することで学校の知名度向上と入学見当者との遭遇機会向上をはかる。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防により大会開催を中止した。また、「ひきこもり支援」に関する講演会&勉強会についても中止とした。</p> <p>令和3年度については、感染予防の安全計画を充実させて、再開を目指す。</p>
平成22～	サポート校の開拓と支援	<p>小規模塾や高等専修学校などのサポート校開拓とサポート校の募集支援・連携した広報活動などの支援活動を通じて、生徒募集のチャンネル増を維持・拡大させる。</p>	<p>令和2年度は、サポート校新規開拓は進んだものの、新型コロナウイルス感染症予防の見地から既存サポート校の巡回指導を十分に実施できなかった。</p> <p>令和3年度は引き続きサポート校空白地域での開拓を進めつつ、令和2年度開拓サポート校の巡回指導を実施する。</p>
平成30～	新学習指導要領への対応	<p>新学習指導要領への移行は、令和4年度より全面移行となる。教科・科目の構成が多きく変わることから、学則改訂を含む学務・学校情報システムの移行体制を整える。</p>	<p>令和2年度は新教育課程および移行措置について検討を行った。</p> <p>令和3年度は、学則を改訂し新学習指導要領に対応する。また、新学習指導要領に対応したスクーリング運営の開発および学校情報システムの対応をおこなう。</p>
平成23～	生徒の問題行動の未然防止	<p>本校での生徒指導のあり方を見つめ直し、生徒対応の方法・学校ルールのアナウンスを再考慮して短期集中スクーリング中だけでなく自宅での問題行動の未然の防止に努める。担任と生徒指導部だけでなく、全教職員での確認や研修、マニュアル整備を通して、学校力として生徒対応に当たる。</p>	<p>令和2年度は、校内巡回およびスクーリング初日の予防教育の強化を行い、問題行動の未然防止に努めた。令和3年度は加えて、学校情報誌での保健教育や担任からの電話指導などスクーリング参加前の予防教育をいっそう強化する。</p>

施設・設備の整備計画

年 度	事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期	備 考
令和元～	校舎の錆び止め塗装工事	大規模	-	教育修繕費	4月～5月	令和3年度は学校情報システムの刷新へ予算を優先させるため実施せず。令和4年度以降計画する。
令和元～	宿舎棟、食堂棟のエアコンの更新	中規模	3,850,000	建物	4月～5月	令和3年度は教室棟3教室、の工事を行う。
令和元～	PC、PC周辺機、印刷機などの設置	小規模	200,000	管理消耗品費	通年	不調機器の置き換えとサポートの切れる旧OS機を中心に行う。

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
令和3	計画なし	

④ 卒業者数、就業者数の見込みについて

令和3年度は、350名の卒業者数を見込んでいる。
 学校把握新規就業者数は、約20名を見込んでいる。

⑤ 生徒の就職、進学状況について

令和3年度受験より、従来の指定校推薦から学校選抜型推薦へと制度転換され、学校選抜型推薦受験者が増加した。また、八洲学園大学への進学者を3名見込んでいる。就職については、コロナ不況のなか地域志向が強くなっている。また、在学中から活躍する芸能タレント・世界的バレエダンサーを令和2年度も輩出しており、この傾向は次年度以降も続くことが見込まれる。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
令和2	退職者（教職員1名、パート1名）	
令和3	教職員採用（常勤講師3名、パート2名）	

5. 財務の概要

令和3年度については、広域通信制高等学校3校の沖縄県内進出への対抗からの広報強化ならびにサポート校開拓により令和3年3月現在で募集が堅調で授業料収入増が見込まれる。増収分については、学校システムの刷新、計画修繕の一環として実施する教室棟のエアコンの更新費用などに充てることを予定している。